

平成27年度三重県公営企業会計（企業庁）

決算審査意見書概要説明

三重県監査委員



# 平成 27 年度三重県公営企業会計（企業庁）

## 決算審査意見書概要説明

### 第 1 審査の概要

審査の対象は、平成 27 年度の三重県水道事業、工業用水道事業及び電気事業の 3 事業会計です。

決算の審査は、知事から提出された決算書類の内容について

- ① 決算の計数は正確であるか
- ② 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- ③ 予算は、議決の趣旨に沿って合理的かつ効率的に執行されているか
- ④ 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、各会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行いました。

### 第 2 審査の結果及び意見

#### 1 審査の結果

三重県企業庁が経営している水道、工業用水道、電気の 3 事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、企業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められます。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に処理されているものと認められます。

（以下、この概要説明においては、金額は万円未満を切り捨てています。）

## 2 審査の意見

### (1) 計画的な施設改良の推進について

取水施設、浄水場等の主要施設や水管橋については、大規模地震等により被災した場合、県民の暮らしや企業活動等に重大な影響を及ぼすことから、これまで耐震化に取り組んできたところです。引き続き耐震化が未実施のものについて整備を進めるとともに、大規模地震等により液状化が想定されている地域に埋設されている管路についても、順次耐震化工事を実施していただきたい。

また、東日本大震災後の耐震基準により新たに整備が必要となった浄水場施設について、次期経営計画に位置づけたうえで、必要な耐震化工事を計画的に実施していただきたい。

主要施設、水管橋、管路の耐震化の状況

		対象	平成27年度末 の実績	今後整備を要 する施設等	平成28年度の 目標値
水道用 水供給 事業	取水施設、浄水場等における主 要施設	129施設	129施設	—	100% (129施設)
	水管橋	170橋	168橋	2橋	98.8% (168橋)
	管路	18,588m	測量 設計 着手	18,588m	4.4% (820.7m)
工業用 事水道 事業	取水施設、浄水場等における主 要施設	64施設	61施設	3施設	96.9% (62施設)
	水管橋	74橋	70橋	4橋	94.6% (70橋)

(三重県企業庁第3次中期経営計画を基に作成)

東日本大震災後の耐震基準に基づく整備

	浄水場の数	うち整備を要する浄水場
水道用水供給事業	5	5 (播磨、水沢、高野、大里、多気)
工業用水道事業	3	2 (伊坂、山村)

## (2) RDF焼却・発電事業の健全な経営について

平成27年度の電気事業会計決算は、RDF貯蔵槽爆発事故等に係る損害賠償金10億931万円を受け入れたことなどにより、単年度では黒字となっています。

しかし、依然として累積欠損金が13億9,863万円残っており、さらに平成29年度以降、維持管理費用の大幅な増加及び売電単価の値下がりに伴う売電収入の減少も見込まれていることから、より効率的な発電運用を行うことで売電収入の向上を図るなど、安全性を確保しつつ健全な経営に努めていただきたい。

### 第3 経営の概要

#### 1 経営収支の状況

平成27年度の経営収支を事業別にみますと、水道事業が1億9,779万円、工業用水道事業が4億8,340万円、電気事業が10億5,543万円の純利益となっています。

前年度と比較しますと、水道事業で20億4,679万円、工業用水道事業で4,595万円純利益が減少し、電気事業では12億6,879万円純利益が増加しています。

水道事業では、平成27年4月の料金改定により給水収益が12億7,000万円減少したこと、26年度の会計基準の改正に伴い計上した5億7,000万円の特別利益が27年度は皆減となったことなどにより、純利益が大きく減少しています。

工業用水道事業では、工業用水の年間供給量が近年やや減少傾向にあるほか、多度工業用水道事業の給水停止に伴う給水収益等の減少もあり、営業収益は減少しましたが、減価償却費等の減少により営業費用も減少したことから、前年度に引き続き約5億円の純利益となっています。

電気事業では、水力発電（残務整理）においては、水力発電所譲渡後の清算に伴う事業費用の計上等により、1億1,969万円の赤字となりましたが、RDF焼却・発電事業においては、再生可能エネルギーの固定価格買取制度適用による平均売電単価が前年度に比べ低下したものの、RDF貯蔵槽爆発事故等に係る損害賠償金を特別利益として計上したことなどにより、11億7,513万円の黒字となり、純利益が大きく増加しています。

3事業の経営収支の合計は、純利益17億3,663万円で、前年度の純利益25億6,058万円に比べ、8億2,394万円利益が減少しています。

(純損益の推移のグラフ、経営収支の状況の一覧表は8頁に掲載)

## 2 建設改良の状況

平成27年度の建設改良費は、57億2,666万円で、前年度に比べて、5億3,171万円、10.2%増加しています。

事業別にみると、水道事業が18億8,586万円、工業用水道事業が38億3,983万円、電気事業が96万円となっています。

(建設改良費の推移のグラフは9頁に掲載)

## 3 長期債務の状況

平成27年度末の企業債の現在高は、394億8,775万円となっており、前年度末に比べて66億5,224万円、14.4%減少しています。

事業別にみると、水道事業が254億468万円、工業用水道事業が140億8,306万円となっており、電気事業においては既に償還を終えたため企業債の現在高は0円となっています。

(企業債残高の推移のグラフは9頁に掲載)

## 4 一般会計繰入金の状況

平成27年度の一般会計からの繰入金は、23億2,403万円で、前年度に比べて、9,626万円、4.0%減少しています。

事業別にみると、水道事業が11億2,771万円、工業用水道事業が11億9,430万円、電気事業が202万円となっています。

(一般会計繰入金の推移のグラフは10頁に掲載)

## 第4 事業会計別の状況

### 1 三重県水道事業

#### (1) 事業の概況

平成27年度の給水実績は71,875,658m<sup>3</sup>で、前年度の72,889,554m<sup>3</sup>から1,013,896m<sup>3</sup>減少し、前年度比98.6%となっています。

建設改良費は18億8,586万円で、前年度に比べて2,611万円、1.4%減少しています。

#### (2) 経営収支の状況

平成27年度の経営収支は、総収益が89億8,428万円、総費用が87億8,649万円で、1億9,779万円の純利益となっています。前年度に比べて20億4,679万円純利益が大きく減少し、前年度比8.8%となっています。

水系別の経営収支は、北中勢水道用水供給事業（北勢系）の木曾川水系及び北中勢水道用水供給事業（中勢系）がそれぞれ黒字、北中勢水道用水供給事業（北勢系）の三重用水系・長良川水系及び南勢志摩水道用水供給事業がそれぞれ赤字となっています。

(総収益と総費用の推移のグラフ、主な経営成績の一覧表は11頁に掲載)

### 2 三重県工業用水道事業

#### (1) 事業の概況

平成27年度の有収水量は202,843,671m<sup>3</sup>で、前年度の205,288,752m<sup>3</sup>から2,445,081m<sup>3</sup>減少し、前年度比98.8%となっています。

建設改良費は38億3,983万円で、前年度に比べて7億157万円、22.4%増加しています。

#### (2) 経営収支の状況

平成27年度の経営収支は、総収益が56億4,673万円、総費用が



51億6,333万円で、4億8,340万円の純利益となっています。前年度に比べて4,595万円純利益が減少し、前年度比91.3%となっています。

水系別の経営収支は、北伊勢工業用水道事業、松阪工業用水道事業及び中伊勢工業用水道事業がそれぞれ黒字、多度・鈴鹿工業用水道事業が赤字となっています。

(総収益と総費用の推移のグラフ、主な経営成績の一覧表は12頁に掲載)

### 3 三重県電気事業

#### (1) 事業の概況

電気事業は、すべての水力発電所の中部電力株式会社への譲渡が完了した平成27年4月1日以降、RDF焼却・発電事業を主体としています。

平成27年度のRDF焼却・発電事業の供給電力量は、49,781,618kWhで前年度の50,300,470kWhから518,852kWh減少し、前年度比99.0%となっています。

建設改良費は96万円で、前年度に比べて1億4,374万円、99.3%減少しています。

#### (2) 経営収支の状況

平成27年度の電気事業全体の経営収支は、総収益が29億8,372万円、総費用が19億2,829万円で、10億5,543万円の純利益となり、前年度に比べて12億6,879万円収支が改善しています。

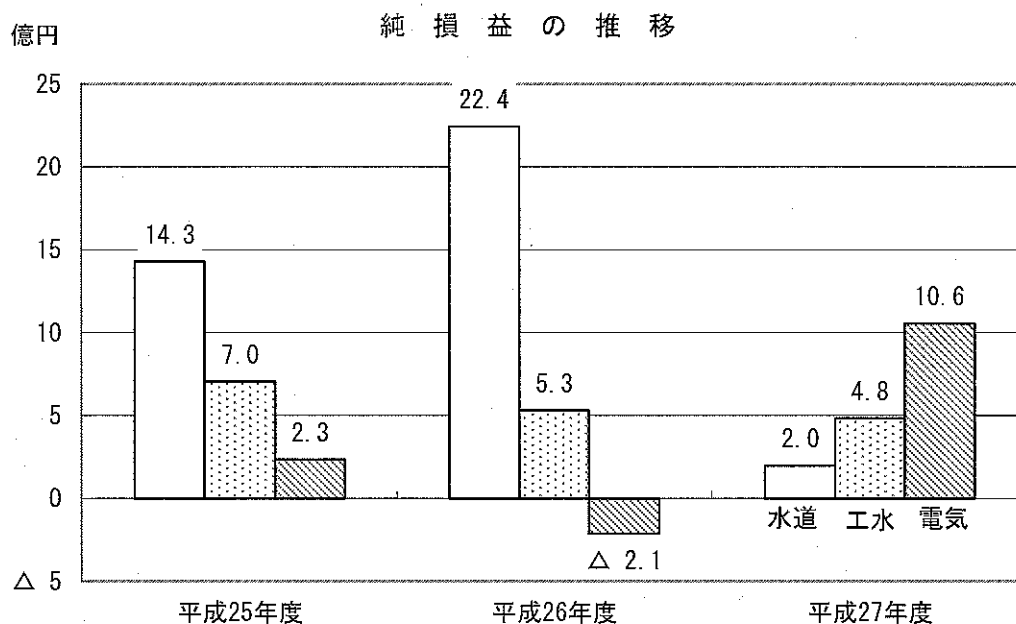
事業別の経営収支は、RDF焼却・発電事業が11億7,513万円の黒字、水力発電(残務整理)が1億1,969万円の赤字となっています。

(総収益と総費用の推移のグラフ、主な経営成績の一覧表は13頁に掲載)

<資料>

1 平成27年度企業庁決算の概要

(1) 経営収支の状況



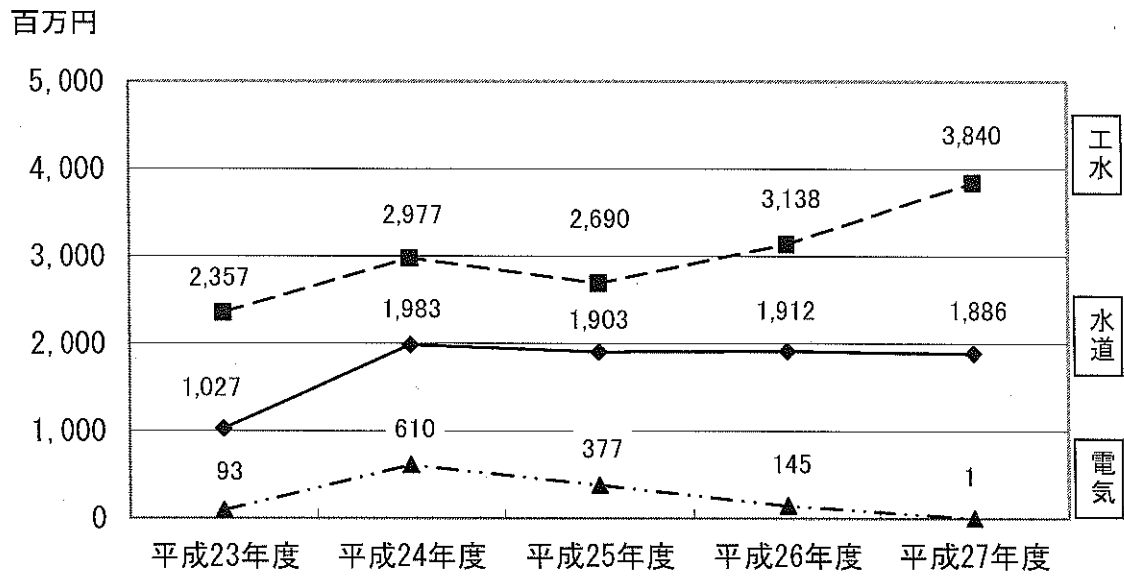
【経営収支の状況】

(単位：百万円)

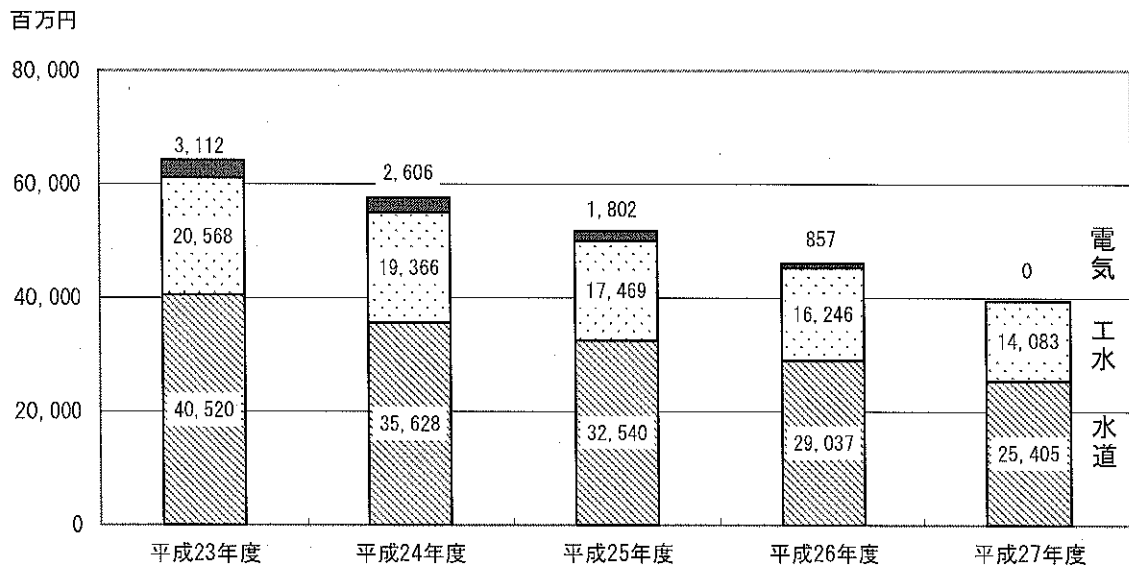
事業名				総収益 (A)	総費用 (B)	当年度純損益 (A) - (B)
水道事業				8,984	8,786	198
内訳	北中勢水道	北勢系	本曾川用水系	1,218	1,130	88
			三重用水系	1,615	1,690	△ 75
			長良川水系	814	826	△ 12
		中勢系	2,715	2,517	197	
	南勢志摩水道	2,622	2,622	0		
工業用水道事業				5,647	5,163	483
内訳	北伊勢工業用水道			5,187	4,735	452
	松阪工業用水道			234	171	63
	中伊勢工業用水道			226	192	34
	多度・鈴鹿工業用水道			0	65	△ 65
電気事業				2,984	1,928	1,055
内訳	R D F 焼却・発電			2,345	1,170	1,175
	水力発電 (残務整理)			639	759	△ 120
合計				17,615	15,878	1,737

(注) 1 本表の金額は消費税及び地方消費税額を含まない。  
2 四捨五入のため合計等が合わない場合がある。

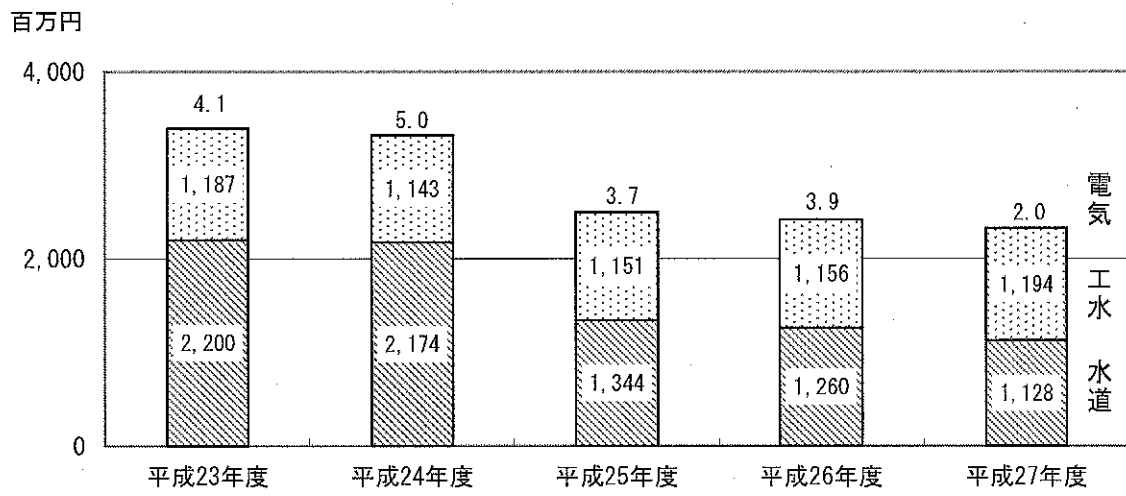
(2) 建設改良費の推移



(3) 企業債残高の推移

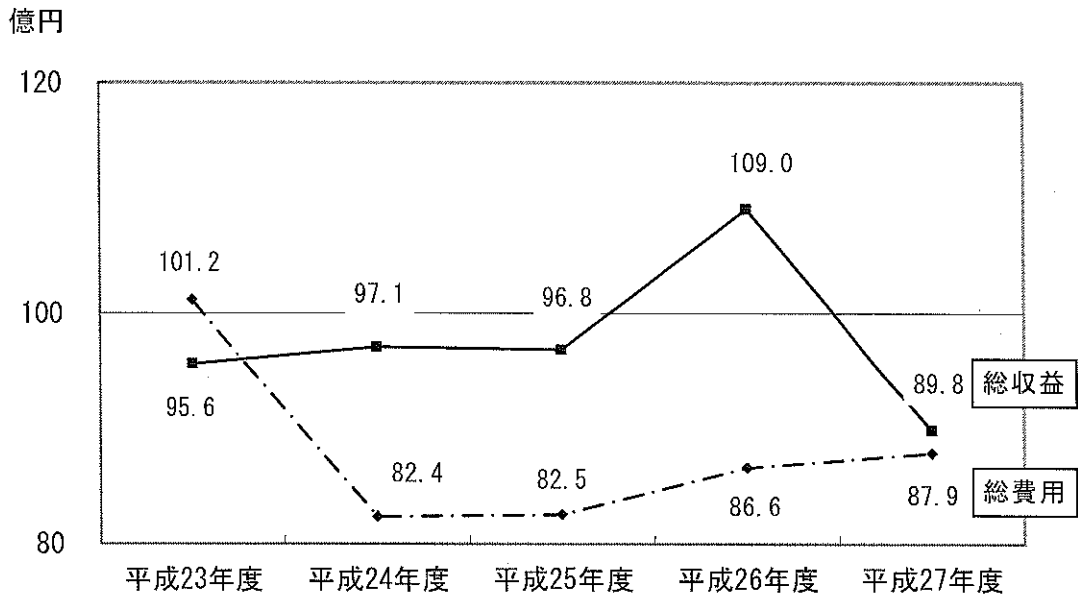


#### (4) 一般会計繰入金の推移



## 2 三重県水道事業

### (1) 総収益と総費用の推移



### (2) 主な経営成績

区分	平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	(参考) 平成26年度 全国平均
給水能力 (m <sup>3</sup> /日)	429,366	427,666	1,700	479,566
年間総給水量 (千m <sup>3</sup> )	71,876	72,890	△ 1,014	110,302
1日平均給水量 (m <sup>3</sup> /日)	195,314	199,697	△ 4,383	300,763
1日最大給水量 (m <sup>3</sup> /日)	264,088	238,199	25,889	339,827
経常収益計 (千円)	8,984,288	10,337,311	△ 1,353,023	11,230,368
うち給水収益 (千円)	8,036,844	9,307,735	△ 1,270,891	9,506,820
経常費用計 (千円)	8,786,496	8,602,342	184,154	9,733,402
うち受託工事費 (千円)	11,245	114,691	△ 103,446	15,315
経常収支比率 (%)	102.3	120.2	△ 17.9	115.4
供給単価 (円/m <sup>3</sup> )	111.8	127.7	△ 15.9	86.6
給水原価 (円/m <sup>3</sup> )	110.4	105.4	5.0	74.6

(注) 1 経常収益＝営業収益＋営業外収益

2 経常費用＝営業費用＋営業外費用

3 供給単価＝給水収益／年間総給水量

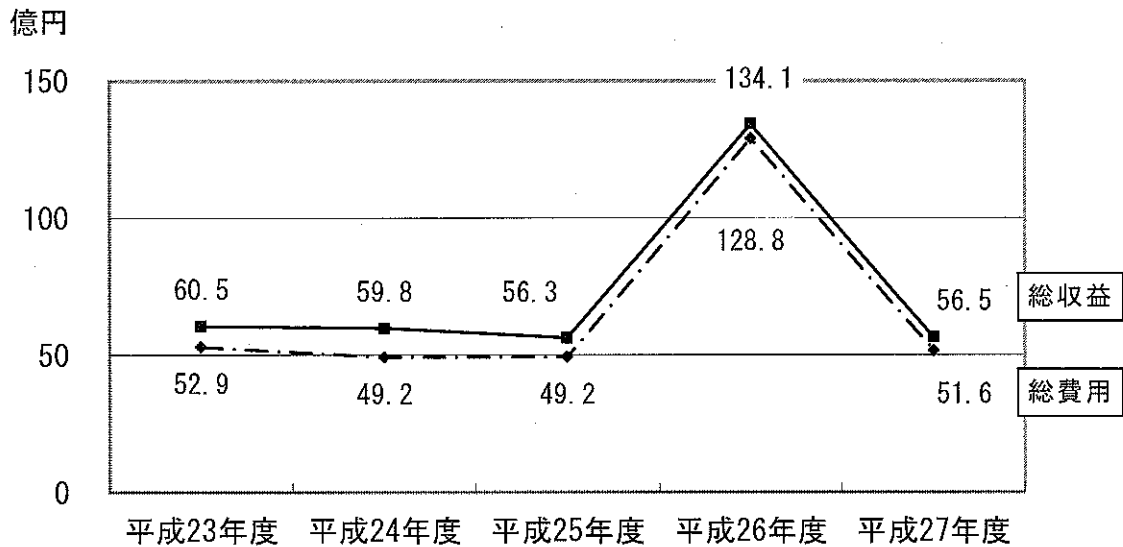
4 給水原価＝(経常費用－受託工事費－長期前受金戻入)／年間総給水量

5 平成26年度全国平均は、「平成26年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」の都道府県営用水供給事業の平均値

6 四捨五入のため、比較増減値等が合わない場合がある。

### 3 三重県工業用水道事業

#### (1) 総収益と総費用の推移



#### (2) 主な経営成績

区分	平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	(参考) 平成26年度 全国平均
給水能力 (m <sup>3</sup> /日)	911,500	911,500	0	400,366
契約水量 (m <sup>3</sup> /日)	786,840	781,130	5,710	313,915
年間総有収水量 (千m <sup>3</sup> )	202,844	205,289	△ 2,445	112,202
1日平均給水量 (m <sup>3</sup> /日)	428,767	435,513	△ 6,746	223,578
経常収益計 (千円)	5,646,740	12,062,922	△ 6,416,182	2,613,384
うち給水収益 (千円)	4,994,270	5,050,123	△ 55,854	2,149,429
経常費用計 (千円)	5,163,333	5,246,342	△ 83,008	2,184,218
うち受託工事費 (千円)	0	0	0	3,494
経常収支比率 (%)	109.4	229.9	△ 120.6	119.6
供給単価 (円/m <sup>3</sup> )	24.6	24.6	0.0	19.2
給水原価 (円/m <sup>3</sup> )	23.3	23.3	0.0	16.9

(注) 1 経常収益＝営業収益＋営業外収益

2 経常費用＝営業費用＋営業外費用

3 供給単価＝給水収益／年間総有収水量

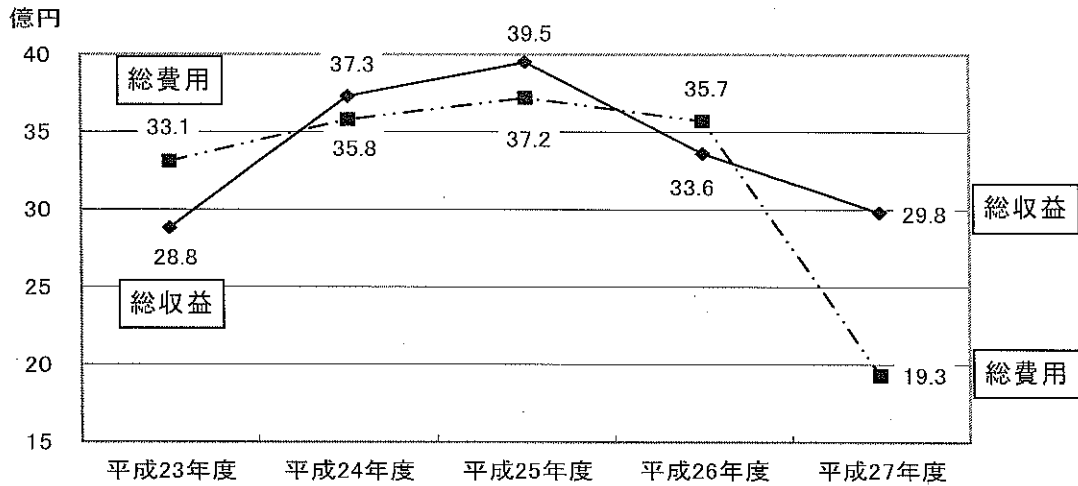
4 給水原価＝(経常費用－受託工事費－長期前受金戻入)／年間総有収水量

5 平成26年度全国平均は「平成26年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」の都道府県営工業用水道事業の平均値

6 四捨五入のため、比較増減値等が合わない場合がある。

## 4 三重県電気事業

### (1) 総収益と総費用の推移



### (2) 主な経営成績

項 目		平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	(参 考) 平成26年度 全国平均
電 気 計	経常収益 (千円)	1,570,395	3,163,859	△ 1,593,464	3,039,941
	うち電力料収入 (千円)	884,192	2,405,500	△ 1,521,308	2,737,936
	経常費用 (千円)	1,794,775	2,672,598	△ 877,823	2,413,219
	経常収支比率 (%)	87.5	118.4	△ 30.9	126.0
	平均売電単価 (円/kWh)	17.8	20.1	△ 2.4	8.9
R D F	経常収益 (千円)	1,335,472	1,412,061	△ 76,589	—
	うち電力料収入 (千円)	884,192	987,323	△ 103,131	—
	うちRDF処理委託料収入 (千円)	388,932	383,067	5,865	—
	経常費用 (千円)	1,119,049	1,057,834	61,215	—
	経常収支比率 (%)	119.3	133.5	△ 14.1	—
	平均売電単価 (円/kWh)	17.8	19.6	△ 1.8	—
水 力 ( 残 務 整 理 )	経常収益 (千円)	234,923	1,751,798	△ 1,516,875	—
	うち電力料収入 (千円)	0	1,418,177	△ 1,418,177	—
	経常費用 (千円)	675,726	1,614,764	△ 939,038	—
	経常収支比率 (%)	34.8	108.5	△ 73.7	—
	平均売電単価 (円/kWh)	0.0	20.5	△ 20.5	—

(注) 1 経常収益＝営業収益＋営業外収益

2 経常費用＝営業費用＋営業外費用

3 平成26年度全国平均は、「平成26年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」の都道府県営電気事業の平均値

4 四捨五入のため、比較増減値等が合わない場合がある。